

# I 学校沿革の概要

- 明治7・9 竹矢村大字竹矢「安国寺」本堂に「竹矢小学校」と称し開校
- 25・9 竹矢尋常小学校として4年修業の学校新設
- 41・4 尋常6年、高等科2年に制度改正
- 大正3・4 八幡町289番地1（宮内）新設移転
- 昭和4・3 講堂改築
- 22・6 6・3制実施「八東郡竹矢村立竹矢小学校」と改称（中学校と併設）
- 25・5 松江市と合併 校名「松江市立竹矢小学校」と改称
- 33・4 中学校の統合により全校舎が小学校の管轄となる
- 35・9 上水道導入
- 36・3 完全給食実施
- 40・2 開校90周年記念式典挙行
- 41・8 水泳プール竣工
- 42・12 学校前国道横断歩道橋竣工
- 49・9 開校100周年記念式典挙行
- 51・7 新校舎現在地に竣工（特別教室棟）
- 52・3 教室棟・管理棟・屋内体育館竣工
- 4 現在地に移転
- 5 竣工式典挙行
- 55・8 国道手間横断歩道橋竣工
- 56・4 水泳プール竣工
- 57・8 中庭に交通庭園完成
- 59・3 学路新設竣工開通式
- 11 竹矢小学校開校110周年記念式典  
記念碑建立 記念諸行事等挙行
- 63・4 文部省 生活科研究推進協力校（3年間）
- 4 宝塚市長尾小学校教育姉妹提携校
- 平成3・4 文部省 生活科研究開発実施推進協力校
- 6・10 同和教育研究指定校研究発表会
- 9・3 パソコンルーム新設
- 12・2 第59回全国教育美術展全国表彰
- 20・11 中国地区国語教育研究大会会場校
- 22・4 小中一貫教育スタート
- 6 校庭芝生化
- 8 第45回 子ども自転車全国大会（東京）に出場
- 23・8 第46回 子ども自転車全国大会（東京）に出場
- 8 校舎耐震化工事及び校舎屋上全面防水工事
- 24・6 校庭芝生 補植
- 8 第47回 子ども自転車全国大会（東京）に出場
- 25・7 体育館耐震化工事
- 8 第48回 子ども自転車全国大会（東京）に出場
- 29・8 第52回 子ども自転車全国大会（東京）に出場
- 令和元・8 第54回 子ども自転車全国大会（東京）に出場
- 5 開校150周年



現在の武内神社駐車場にあった昭和五十一年当時の竹矢小学校

# II 校区の概要

1. 竹矢地区は松江市の南東に位置し、面積6.95km<sup>2</sup>で、北部は大橋川を隔て朝酌と対し、東部は中海に面し、南部は東出雲町、そして西部は、大庭、津田の各地区に接し、地区の大部分が大橋川と意宇川に挟まれた下流域にあり、東西約5km、南北2kmの長方形に近い地域である。
2. 地域内は、竹矢町、八幡町、馬潟町、矢田町、富士見町、青葉台に分かれる。昔、古代出雲の中心として栄えたところで、各所に往時の面影を残す。西暦5世紀後半に作られたといわれる矢田の石屋古墳、ほか井ノ奥、手間、山宮、馬潟にかけての古墳の数々、また、下って奈良天平の昔に建立された出雲国

分寺の遺跡をはじめ、出雲八幡総社の平浜八幡宮や仏閣として著名な臨濟宗安国寺、真言宗迎接寺などが今なお存続している。

3. 産業基盤は、昭和初期までは農村地帯であったが、戦後の復興と共に近代化産業の普及と発展にともない、当地区も耕地の基盤整備、農業の機械化が行われた。昭和63年中海の一部干陸化によって造成された耕地意宇川沿岸67.4haが編入された。

一方、国道9号線、同バイパス等道路の整備にともない、年を追って地区内の活性化と工場や事業所の団地化が図られ、矢田内陸工業団地、馬潟鉄工団地の生産能力は著しく向上した。

環境施設では、松江の集約地となり、可燃物焼却南工場、し尿処理川向工場、宍道湖東部下水道浄化センター、そして、平成14年度開設した川向リサイクルプラザなどがあり、松江市環境浄化の一端を担っている。下水道が整備されつつある。また、「松江道路」（バイパス）の開通（H13）や家電量販店の進出（H18）など、地域を取り巻く環境が少しずつではあるが変化してきている。

# III 学校経営の概要

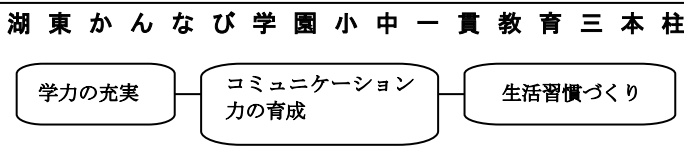
**松江市学校教育プラン**

1. 確かな学力を育成するための教育
2. 豊かな人間性をはぐくむための教育
3. 児童生徒の健康と体力を増進するための教育
4. 松江市の特色を生かした教育

**「湖東かなび学園」教育目標**  
～地域に根ざし、確かな学力と豊かな心を持ち、たくましく生きる子どもの育成～

＜めざす児童・生徒像＞

- 自ら考え、意欲的に学ぶ児童・生徒
- 思いやりを持ち、地域や仲間の中で自己を伸ばす児童・生徒
- 新しいことにも積極的に取り組み、最後までやりぬく児童・生徒



**学校教育目標**  
「豊かな心と知恵を持ち、たくましく生きる子どもの育成」  
～ほんきとげんきとえがおがいっぱい～

- ☆めざす児童像
- ☑えを働かす子（知） 自分で考え進んで行動する子「ほんき」
  - ☑じけない子（体・耐） 粘り強く挑戦し続ける子「げんき」
  - ☑さしい子（徳） 人を思いやり協力しあう子「えがお」

**ほんき・げんき・えがお**

- ☆めざす学校像
- ・安心して学べる学校・・・子どもが「行きたい」と思う
  - ・信頼される学校・・・保護者が「通わせたい」と思う
  - ・よさが発揮できる学校・・・地域が「応援したい」と思う

- ☆めざす教職員像
- ・笑顔で協働できる教職員
  - ・信頼を築き、温かい人間関係を育む教職員
  - ・学び続ける教職員

# 学校経営の重点

- <ほんき>**
- 学習に向かう構えの育成
    - ・授業の始めと終わりの時間を意識した学びの姿勢
    - ・見通しをもち、達成感を味わえる学習過程の設定
    - ・落ち着いた学習環境の構成
  - 基礎・基本の確実な習得
    - ・反復学習の工夫
    - ・家庭学習の充実
    - ・学校図書館の効果的な活用（本を読もう もっともっと本を読もう）
  - 仲間と学び合う喜びのある授業の展開
    - ・人の話を最後まで聞く
    - ・自分の思いを言葉で尽くして表現し、納得を引き出す
    - ・ICT機器の有効活用（まずは使ってみよう！）

- <げんき>**
- 心身の健康増進に向けた生活リズムの定着
    - ・明るいあいさつと返事の励行
    - ・自分のめあてをもち、挑戦していく意欲の醸成
    - ・メディアに関わる家庭との連携
  - 楽しく運動に親しむ場の工夫
    - ・体育授業を核とした運動への意欲喚起（体育授業のマネジメント）
    - ・生活の中での体づくり（仕掛けと場の設定）と外遊びの奨励
    - ・正確な「姿勢体操」の継続（安定した土台作り）
  - 安全管理・安全教育の充実
    - ・安全な廊下歩行の徹底
    - ・子供目線の安全点検
    - ・子どもの危機管理意識の高揚

- <えがお>**
- 人を大切にする集団づくり
    - ・互いの良さを認め合い、自尊感情を高める絆づくり
    - ・「いじめ」を許さない毅然とした風土の醸成
    - ・特別支援教育の視点に立った教育的ニーズを踏まえた適切な関わり（困った子は困っている子）
  - 郷土愛を育むふるさと教育の推進
    - ・竹矢や松江・島根のよさを認識できる働きかけ
    - ・身近な地域の「ひと・もの・こと」とつながる直接体験
    - ・地域コーディネーターとの連携
  - 子ども理解に基づく多角的な支援
    - ・子どもと共に過ごし触れ合う時間の確保
    - ・教職員の情報共有と子どもを取りまく背景を踏まえた組織的対応
    - ・きめ細やかな教育相談の実施

# IV 今年度の研究

（主題） 自ら考え、ともに学び合う子どもの育成  
～表現力豊かな学び合いをめざして～

- （めざす児童像）
- ・自分の思いや考えを進んで表現し、伝え合うことができ子
  - ・学習課題にむかって仲間と関わり、進んで学習する子

竹矢小学校周辺 航空写真



# V 学級編制・教職員組織

学年	組	児童数			保護者数 合計	
		男子	女子	合計		
たけのこ	1組	2	2	4	12	2
	2組	0	1	1		1
	3組	6	1	7		6
1年	1組	13	14	27	53	11
	2組	12	14	26		9
2年	1組	12	13	25	49	11
	2組	12	12	24		11
3年	1組	17	13	30	61	19
	2組	18	13	31		22
4年	1組	15	11	26	52	16
	2組	14	12	26		22
5年	1組	12	12	24	47	23
	2組	11	12	23		23
6年	1組	11	11	22	44	22
	2組	12	10	22		22
合計		167	151	318		220

# 職員組織

## 校長

教頭	主幹教諭
1-1 担任	1-2 担任
2-1 担任	2-2 担任
3-1 担任	3-2 担任
4-1 担任	4-2 担任
5-1 担任	5-2 担任
6-1 担任	6-2 担任
たけのこ1組担任	たけのこ2組担任
たけのこ3組担任	
専科教員	専科教員
養護教諭	主任主事
校務技師	学校司書
初任者指導教諭	非常勤講師
非常勤講師	にこにこサポートティーチャー（通常）
にこにこサポートティーチャー（特支）	サポートワーカー
親と子の相談員	SSS
特別支援教育支援員	スクールカウンセラー
A L T	初任研指導講師
外国語活動指導協力員	地域学校コーディネーター
P T A 事務	